

## 歯科放射線学A, B, 実習

前期 月曜日 後期 火曜日, 木曜日 誉田 栄一, 細木 秀彦, 前田 直樹, 吉田 みどり

ここで紹介された資料は蔵本2階授業サポートナビコーナーにありますので、どうぞご利用ください。

(同じ本が3冊以上ある場合は★の場所にもありますので、そちらもご覧ください)

### 図書

授業のテーマをつかみ事前学習や復習を効率的に進めるために、これらの図書を読むことから始めましょう

□ **歯科放射線学 (第5版) / 岡野友宏、小林 馨、有地栄一郎 編集 医歯薬出版 2013年**

→ 歯学教育モデルコアカリキュラム、共用試験に完全対応した歯科放射線学テキストで画像診断のベースとなる典型的な写真・図が精選して多数掲載されている。この5版で大幅に内容が改訂された。

【497.2||Sh】

□ **標準歯科放射線学 (第2版) / 西連寺永康 監修 淵端 孟、野井倉武憲、岸 幹二 編集 医学書院 2000年**

→ 歯科放射線学に必要な事項を網羅したうえで、より臨床に即した内容でX線画像診断についての系統的な考え方が把握できる構成となっている。

★【蔵本2階生命科学閲覧室 497.2||Hy】

□ **新版 歯科診療における放射線の管理と防護 人体への影響の正しい知識と理解 (第2版) / 佐々木武仁、島野達也 編集 医歯薬出版 2015年**

→ 歯科臨床に欠かせない放射線検査技術は、近年、デジタルX線診断システムや歯科用コーンビームCTが普及するなど大きな進展を見せており、これに伴い放射線被曝と防護の考え方にも新たな対応が求められている。本書では、放射線防護に関する最新の知見がわかりやすく解説されている。

【497.2||Sh】

□ **歯科診療におけるX線診断の品質保証プログラム / 佐々木武仁 編集 医歯薬出版 2006年**

→ 歯科医療にとって重要なX線診断の有用性をいっそう確かなものにするのが品質保証システムで、本書は日常の歯科診療におけるわが国初めてのX線診断の品質保証マニュアルである。

【497.2||Sh】

□ **歯科臨床における画像診断アトラス (第2版) / 日本歯科放射線学会 編集 医歯薬出版 2020年**

→ 口腔内から頸部まで歯科臨床における画像診断の理論と実際を網羅した画像診断アトラスで部位別、疾患別に整理されている。

また、画像診断法別に正常解剖も解説されている。X線画像などはトレース図も添えてやさしく解説されている。

尚、症例は全国29歯科大学・歯学部の歯科放射線学教室の参加により、多くの貴重な画像が収載されている。

【497.2||Sh】

□ **アトラス 口腔画像診断の臨床 第2版 / 生田裕之、東 与光 著 医歯薬出版 1992年**

→ X線写真が正確に読影できるよう口腔内写真と図を併用し、理解しやすく配慮した実地臨床のための好マニュアルで日常遭遇する症例を中心に構成し、主要ポイントごとに重要箇所が明示されている。

★【蔵本2階生命科学閲覧室 497.2||Hi】

□ **Oral Radiology : Principles and Interpretation 7<sup>th</sup> edition / Stuart C. White and Michael J. Pharoah Mosby Elsevier 2014**

→ 歯科放射線学の基本的事項を紹介すると共に1,000を超える臨床例を用いてMRIやCTのような専門的知識、および病理学によるX線写真の解釈に迫っている。さらに放射線物理学、放射線生物学、および放射線防護についても述べられている。

【497.2||Or】

□ **Oral and Maxillofacial Radiology : A Diagnostic Approach / MacDonald, David Wiley-Blackwell 2011**

→ 歯科医学において正確で高度な画像診断を行うためのマニュアルである。

【497.2||Ma】

□ **Dental Radiography : Principles and Techniques 5<sup>th</sup> edition / Iannucci, Joen M. and Howerton, Laura Jansen W B Saunders Co 2017**

→ 基本的な歯科放射線学の概念および実践的技術が解剖図、写真およびX線写真を使って紹介されている。

【497.2||Ia】

**Web**

授業のテーマに関連したデータベースやサイトです

□ **独立行政法人 放射線医学総合研究所** 【<http://www.nirs.go.jp/>】

放射線と人々の健康に関わる研究開発に取り組む「国内唯一」の研究機関